

ステークホルダーの皆様へ



代表取締役社長 兼 COO
大原 靖

代表取締役会長 兼 CEO
長 勇

「モノづくりにこだわり、モノづくりの先を行く」
次の100年に向け、つばきグループは
新たなスタートを切りました

創業100周年のご挨拶

当社は2017年、おかげさまで、創業100周年を迎えました。

これもひとえに、ステークホルダーの皆様のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。

1917年に自転車用チェーンの製造で創業した当社は、機械工業の発展を予見して産業用チェーンの製造へとシフト。以来、「チェーン」の技術を進化させて、「マテハン（マテリアルハンドリングシステム）」「自動車部品」「精機」へと事業を拡大し、「伝動と制御」「搬送・保管」に関わる「総合メーカー」へと成長してきました。

また、海外進出を積極的に行ってきたことで、2013年度には海外売上高比率が50%を超え、グローバル企業への飛躍も遂げることができました。

あるべき姿の実現に向けて

当社グループでは2014年度に、2020年度をターゲットとしたグループのあるべき姿「長期ビジョン2020」を策定しています。その実現に向けた第2ステージのアクションプラン「中期経営計画2020（2017～2020年度）」を、2017年4月にスタートさせました。

その基本方針は、第1ステージの「中期経営計画2016」を踏襲した「マーケットインの企業文化への転換」「グループ総合力の発揮」とし、新商品の開発・販売のスピードを上げていきます。また、「ONE TSUBAKI」をキーワードに、組織と人を活性化させて戦略遂行力を高めることで、「中期経営計画2020」の数値目標「連結売上高3,000億円、営業利益率10%、海外売上高比率70%」の達成を目指していきます。

並行して、ESG（環境・社会・ガバナンス）の各側面における取り組みも強化し、ステークホルダーや社会からの信頼性向上にも努めていきます。

社会から必要とされる企業であり続けるために

100周年は、私たちつばきグループにとって、次の100年に向けた新たなスタートでもあります。これを機に、「自分たちの会社は、誰のために何をする会社か」を一から見直し、新たな企業理念「TSUBAKI SPIRIT」を制定しました。

新企業理念のもと、創業以来こだわり続けてきたモノづくりを発展・進化させることはもちろん、社外の知見や技術を積極的に取り入れながら、これまでになかった価値を創造・提供していくことで、次の100年も社会から必要とされる企業であり続けたいと思います。

ステークホルダーの皆様には、引き続き、当社グループへのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

代表取締役会長 兼 CEO
長 勇

代表取締役社長 兼 COO
大原 靖